

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

| | | | | | | | | | | |
|--------|---------|-----------|-----------|--|-----------|-------|-----|--------------|------|---------|
| 整理番号 | 96 | 事業名 | スポーツ賞表彰経費 | | 事業の性質別 | 裁量的経費 | 区分 | | | |
| 予算事項名 | 大事項 | スポーツ賞表彰経費 | | 中事項 | スポーツ賞表彰経費 | | 部課名 | 生涯学習部スポーツ振興課 | | |
| 事業開始年度 | 平成 5 年度 | 根拠法令等 | あり | <input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市スポーツ振興基金事業取扱要綱) | | | | | 電話番号 | 21-3474 |

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

| | |
|--------|--|
| 目的・必要性 | <p>【目的】 平成4年の「スポーツ健康都市宣言」を受け、平成5年に設立した「スポーツ振興基金」による実施事業で、函館市における、スポーツ・レクリエーションの健全な普及発展に関し、功労顕著であると認められる者に対し、スポーツ賞を贈り顕彰するものである。</p> <p>【必要性】 本市のスポーツ・レクリエーションの、さらなる振興・発展に貢献していただけるよう顕彰するものであり、今後も本市のスポーツ振興のため必要である。</p> |
| 内容 | <p>○表彰部門 ・功労者部門, 功労団体部門, 成績部門, 特別表彰 ○業務内容 ・表彰対象者推薦依頼業務 ・表彰対象者資料作成業務 ・記者発表資料作成業務 ・贈呈式プログラム ・資料作成業務 ・贈呈式開催業務</p> |

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

| | | 平成24年度決算 | 平成25年度決算 | 平成26年度予算 | 平成26年度決算見込 | 平成27年度予算 | 平成28年度予算要求 |
|---|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 事業費 (A) | | 389 | 351 | 561 | 375 | 561 | 0 |
| 特定財源 | 国・道 | | | | | | |
| | 市債 | | | | | | |
| | その他 | 389 | 351 | 561 | 375 | 561 | |
| 一般財源 | | | | | | | |
| 事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small> | 職員 | 人工 0.11 826 | 人工 0.11 794 | 人工 0.11 802 | 人工 0.11 802 | 人工 0.11 826 | 人工 0.00 0 |
| | 嘱託職員 | 人工 0.00 0 | 人工 0.00 0 |
| | 臨時職員 | 人工 0.00 0 | 人工 0.00 0 |
| | 人件費 (B) | 826 | 794 | 802 | 802 | 826 | 0 |
| 総事業費計 (A+B) | | 1,215 | 1,145 | 1,363 | 1,177 | 1,387 | 0 |

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

| 活動指標名 | 単位 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 功労者部門(個人) | 件 | 3 | 1 | 1 | |
| 成績部門(個人・団体) | 件 | 3 | 2 | 3 | |
| 特別表彰 | 件 | 1 | | | |

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

| | |
|------|----------|
| 成果指標 | 表彰対象者の件数 |
|------|----------|

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

| | |
|--------|--|
| 事業の成果等 | スポーツ・レクリエーションの普及発展に関し、功労顕著であると認められる者を顕彰することにより、地域スポーツの発展や競技力の向上が促進され、スポーツの振興が図られている。 |
|--------|--|

5. 事務事業の点検 (CHECK)

| 評価項目 | | 評価内容 | 評価内容の説明 | 評価項目 | | 評価内容 | 評価内容の説明 |
|---------------------|--------------|--------------|--|--------|------------|----------|---------------------------------|
| 必要性 | 事業の市民ニーズ | 変わらない | 毎年、多数の成績優秀者が顕彰されているほか、各競技団体から功労部門の推薦がある。 | コスト・負担 | コストの節減度 | 節減できている | 年度により、対象者は変動するため、一定の予算計上は必要である。 |
| | 市の関与の妥当性 | 社会情勢等から関与が妥当 | | | 将来コスト増減見込み | 現在と変わらない | |
| 成果・有効性 | 成果の達成状況 | 達成している | 功労や成績の顕彰をすることで、競技団体役員等や競技者の励みになっている。 | 執行方法 | 受益者負担の適正度 | 適正 | |
| | 事業目的実現のための手段 | 現手段が最適 | | | 外部委託の可能性 | 不可能 | 外部委託にそぐわない性質のものである。 |
| 評価結果から明らかになった課題事項など | | | | | | | |

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

| | | |
|---------------------|-------|--|
| 今後の方針 (改善・見直し内容) | 基本方針 | (事業について) これまで112名の個人ならびに46団体に贈呈してきたが、今後についても長年にわたり当市のスポーツ普及・発展のために、尽力された者や、全国規模の大会で輝かしい成績を収められた者に対し、スポーツ振興を図るうえでも、函館市スポーツ賞を贈呈する必要があり、現行どおり継続する。 |
| | 現行どおり | (経費について) 現行どおり継続する。 |

参考:他の自治体の状況

| | |
|----------------------------|--|
| 比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など) | |
|----------------------------|--|